

生成AIの業務適用について

2025/10/13

樹脂製造部業務課 小笠

皆さん、こんにちは。

先日実施された「生成AI活用セミナー」にて、
AI技術の最新動向と業務への応用について学びました。
ここでは、生成AIの基本的な特徴と、
業務で活用する際のポイントを共有いたします。

生成AIとは、文章や画像、音声などを、
自動で生成・処理する人工知能の一種です。
ChatGPTなどのサービスが代表的で、
人間の言葉を理解し、自然な文章を作成したり、
データを分析して結果を提示したりすることができます。

使いこなせば…



業務での活用例としては、議事録の要約や報告書の下書き、
メール文の作成、社内FAQの自動応答などがあります。

また、アンケートの感情分析や、売上・在庫の予測、
異常検知など、数値データの処理にも活用できます。

画像や映像の解析も可能で、製品の傷や設備の異常を検出したり、

手書き資料のデジタル化を行ったりすることもできます。

音声認識や音声合成を使えば、会議録音の文字起こしや、
ナレーション作成も可能です。

使えなかったら…



このように、生成AIは多くの業務を効率化し、
社員の負担を軽減する可能性を持っています。
しかし、注意すべき点もあります。

まず、生成AIが出力する情報は、必ずしも正確とは限りません。

誤った情報や、文脈に合わない内容が含まれることもあるため、人による確認と判断が不可欠です。

また、機密情報や個人情報を入力すると、外部に漏れるリスクがあります。

生成AIはインターネット上の情報を学習しているため、

入力した内容が学習データとして残る可能性もあります。

そのため、情報の取り扱いには十分注意してください。

さらに、AIの提案に依存しすぎると、

人間の判断力や創造力が損なわれる恐れもあります。

生成AIはあくまで補助的なツールとして活用し、

最終的な判断は人が行なうことが重要です。



今後、生成AIはさらに進化し、

業務のさまざまな場面で活用されていくと予想されます。

まずは基本的な仕組みと注意点を理解し、

安全かつ効果的に使うことが、私たちの業務改善につながります。

「ちょっと考えを整理したい」「アイデアが欲しい」

そんな時にも、生成AIは頼れる存在です。

ぜひ、日々の業務の中で、少しずつ試してみてください。



以上が、セミナーの概要となります。

さて、勘の鋭い方はもうお気づきかも知れませんが……

ここまでまとめ、実は全てAIにお任せしてみました！どうでしたか？

今回この文章を作成するのにMicrosoftのCopilotを使用し、はじめに

入力したプロンプト（AIに指示を出すための文章）は以下「」内になります。

「あなたは社員300名程度の製造業で管理業務を行っています。

添付ファイルは先日受講したセミナーで使われた資料になります。

生成AIの良い点、注意する点を1500文字程度に要約して、

社員に生成AIの業務適用について情報を共有する文書を作成してください。

50文字を超えたら句読点で改行。」

※これに加え、講義で使用した56ページの資料（PDF）を取り込みました。

これまで生成AIにはほとんど触れたことがなく、知識はほぼ0でしたが、そんな自分でも今回のセミナーを通してこのような使い方が出来るようになり、月曜かいの資料を作成する時間もいつもより大幅に短縮できたように感じます。

セミナー後は様々な調べものやトラブルシューティング、作成した文章の確認などに使用しており、非常に役に立っています。

今後も日常業務の中で積極的に活用し、業務改善につなげていきたいと考えています。

※今期の社長方針・DX活動のヒント

「生成AIを実用レベルで秘書のように活用する」



今後生成AIは使い方次第で優秀な部下となり、人材不足を補いながら、

人間にしかできない判断や創造力を支える存在になるでしょう。

ただ、現時点では人間にしかできないこともあると感じています。

それは人の気持ちに寄り添ったコミュニケーションや状況に応じた柔軟な対応、

そして道徳的な判断などです。

これからは日々進化するAIに対応する力を身につけながら、自分自身の人間力も高めていきたいと考えています。

最後に、これから生成AIを使ってみようという方に向けて一言。

赤字で示したポイントは、トラブルを避けるためにも非常に重要ですので、ぜひ意識してみてください！

困った時は自部署の情報セキュリティ委員や詳しい方、総務課等に相談しましょう。

それと今回受講したセミナーの講義資料をメンバー5人（畠中KD、古賀野KD、槇原KD、橋崎C、小笠）で共有しています。

興味のある方にはお渡ししますので、ぜひご連絡ください。